

平成28年12月1日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 工藤 稔

『健康経営』の普及を通じて中小企業をもっと元気に ～「DAIDO KENCO アクション」がスタート！～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：工藤 稔）は、特定非営利活動法人 健康経営研究会（理事長：岡田 邦夫）、株式会社バリューHR^{※1}（社長：藤田 美智雄、東証二部上場（証券コード 6078））、株式会社りそなホールディングス（社長：東 和浩、東証一部上場（証券コード 8308））傘下のグループ3行（株式会社 りそな銀行、株式会社 埼玉りそな銀行、株式会社 近畿大阪銀行）と協働し、中小企業への「健康経営^{※2}」の普及に向けた取組みを開始いたします。

1. 「健康経営」の普及を通じた社会的課題解決への貢献

わが国では、少子高齢化による生産人口の減少、生活習慣病患者・メンタルヘルス不調者の増加や、これらに伴う医療費の増加といった社会的な課題が深刻化しています。

こうした社会環境の変化を受けて、企業においても、従業員一人ひとりの労働生産性の維持・向上に向けた健康増進の重要性が一層高まっており、「健康経営」に取り組む企業が増加しています。

本来、「健康経営」は、従業員一人当たりの役割が相対的に大きい中小零細企業にこそ早期の普及が求められますが、「健康経営」を実践するための“ノウハウ・予算・人材”が不足しているなどの課題があり、普及は一部の上場企業等に留まっています。

こうした状況を踏まえ、大同生命では、さまざまなノウハウ等を有する企業・団体と協働することで、中小企業による「健康経営」の取組みを総合的に支援していくことといたしました。

具体的には、特定非営利活動法人 健康経営研究会が創設した認定制度である「健康経営宣言」の普及・推進、株式会社バリューHRと共同開発した「健康経営」の実践ツールである[大同生命「KENCO SUPPORT PROGRAM」](#)（[ケンコウ・サポート・プログラム](#)）を提供^{※3}して参ります。また、りそなグループ3行は、当プログラムの利用者に対し、「スマート口座^{※4}」を通じて、「健康経営」に取り組むインセンティブを提供いたします。

当社は、中小企業による「健康経営」の実践を支援することで、中小企業とそこに働く人々が活き活きと活躍できる社会づくりへの貢献を目指すとともに、健康寿命の延伸、ひいてはわが国の高齢化社会が抱える課題解決への貢献を目指して参ります。

※1 平成28年6月1日付で業務・資本提携。

※2 「健康経営」とは、企業が従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に従業員の健康管理・健康づくりを実践することです。「健康経営」は特定非営利活動法人 健康経営研究会の登録商標です。

※3 お客さまへの提供開始は、平成29年4月の予定です。

※4 スマート口座は、スマートフォンで簡単に口座開設手続きが可能です。また、専用のスマホアプリや「どこでも通帳アプリ」で口座の残高や入出金明細が簡単に確認できます。

2. お客様の支援に向けた当社の今後の取組み

当社では、所定の健康状態に該当した方の保険料を割引く「健康体割引特約（平成 10 年 10 月）」や、加入時に健診表を提出いただくことで査定を緩和する引受基準を導入（平成 25 年 6 月）するなど、これまでも本業である生命保険商品や引受制度を通じて、健康増進に取り組むお客様の支援や、中小企業における健診受診率の向上に資する取組みを永年にわたり進めて参りました。

「DAIDO KENCO アクション」を開始するにあたり、お客様による健康増進の取組みをさらに後押しする観点から、平成 29 年 4 月より「健康体割引特約」の取扱年齢の上限を撤廃するなど、適用範囲を拡大いたします。

今後は、本業である生命保険商品と新サービス（[大同生命「KENCO SUPPORT PROGRAM」](#)）の一体的な提供を通じて、健康増進に取り組む中小企業のお客様の一層の支援に取り組んで参ります。

なお、新サービスを通じて、新たに個人の健診結果や運動行動等の時系列データの取得が可能になります。当社では、得られたデータを匿名データとして活用し、健康増進に取り組む中小企業のお客様への支援の充実に資する新商品・サービスのさらなる開発につなげていきたいと考えております。

以 上

「DAIDO KENCOアクション」の概要

平成28年12月1日

1. 健康経営の普及支援態勢

1-1 健康経営の普及を支援する企業・団体との協働

当社は、中小企業における「健康経営」の普及を支援する企業・団体との協働の輪を広げることで、**全国381万社※の中小企業に対して、1社でも多く「健康経営」を普及・浸透できる態勢を構築**して参ります。

※出典：総務省統計局「平成26年経済センサス-基礎調査」再編加工。企業数+個人事業主数の合計

全国381万社の中小企業

「健康経営」の普及推進

大同生命	中小企業に対する「健康経営」の普及支援態勢の整備
健康経営研究会	中小企業向け独自の評価指標「健康経営宣言」の普及
りそな銀行 埼玉りそな銀行 近畿大阪銀行	「健康経営」実践企業と従業員に対するインセンティブの提供
協力団体・企業	「健康経営」の普及に賛同する団体や企業との協働



大同生命「KENCO SUPPORT PROGRAM」の提供

バリューHR	「KENCO SUPPORT PROGRAM」の開発・運営
セイコーエプソン ソフトバンク タニタ	ウェアラブル端末などによる運動データ等の管理機能の提供
野村総合研究所	世界的な疫学研究を活用した健康リスクの将来予測機能の提供
リンクアンド コミュニケーション	約10万人の栄養指導実績に基づく食事改善アドバイス機能の提供
健康関連サービスの提供事業者	健康関連商品・サービスの優待価格での提供（約140社）

1-2 大同生命における取り組み①

- ・「健康経営を実践する企業が健康経営を実践する企業を支援する」との基本認識の下、**当社自ら健康経営に取り組み、役職員のヘルスリテラシーの向上**に努めます。
- ・健康経営理念の普及および実践ツールとしての大同生命「KENCO SUPPORT PROGRAM」の提供を通じて、健康経営を実践するうえで**中小企業の課題となっている“人材・ノウハウ・予算”不足の解決を支援**します。
- ・また、成長性を重視した個別銘柄投資等を通じて、**ヘルスケア産業の活性化に貢献**します。

全社一体となった「健康経営」の普及支援

大同生命自身による「健康経営」の実践

- ・当社役職員向けに「KENCO SUPPORT PROGRAM」を導入
- ・「健康経営アドバイザー」の資格取得などによる、役職員のヘルスリテラシーの向上

中小企業の“人材・ノウハウ・予算”不足の解消に向けた支援

- ・当社営業担当者(人材)による KENCO SUPPORT PROGRAM(ノウハウ)の低価格(予算)での提供

ヘルスケア産業の活性化への貢献

- ・成長性を重視した個別銘柄投資等を通じて、ヘルスケア産業の活性化に貢献



1-2 大同生命における取り組み②

- ・ 当社は、健康経営の普及推進における**当社の取り組みの総称を「DAIDO KENCOアクション」とし**、当社の有する様々なノウハウをフルに活用し、全社をあげて中小企業における「健康経営」の普及支援に取り組んで参ります。
- ・ この「**KENCO**」の「**CO**」に、中小企業とそこに働く人々が生き生きと活躍できる社会と健康寿命の延伸の実現、わが国の高齢化社会が抱える課題解決への貢献を目指す**当社の想いを込めています**。



KENCO
ACTION
DAIDO-LIFE

DAIDO KENCO アクション
ロゴマーク

【ロゴマークのイメージ】

- ・ 健康を連想する色である「黄緑」を使用し、当社、中小企業、そして社会への「健康の輪」の広がりをイメージしています。

【COに込めた当社の想い】

COMPANY | 会社

企業の「健康経営」の実践を
総合的に支援

CONTRIBUTION | 貢献

生産人口減少や医療費増加等の
社会的な課題解決に貢献

COLLABORATION | 協働

専門的技術を有する複数の
企業との協働

COEXISTENCE | 共存

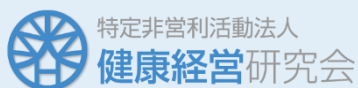
中小企業・社会と共に
永続的に共存

2. 企業・団体との協働

2-1 特定非営利活動法人 健康経営研究会との協働(健康経営理念の普及)

- ・ 特定非営利活動法人 健康経営研究会は、平成18年の創設以来、健康経営のパイオニアとして健康経営の普及・推進に取り組んでいます。また、平成28年8月には、健康経営に関する独自の認定制度として「健康経営宣言」を創設しました。
- ・ 当社は、同法人と協働し、健康経営理念の普及と「健康経営宣言」の認定を目指す企業の拡大に協力します。

中小企業向け「健康経営宣言」の普及



健康経営宣言の指標

1. 経営者の健康経営宣言

- ・ 経営者が健康経営を自ら推進している
- ・ 長時間労働対策、メンタルヘルス対策を実施している

2. からだの健康づくり

- ・ 健康診断受診率100%に向けて努力している
- ・ 健康診断事後措置を協会けんぽ等に相談して実施している

3. こころの健康づくり

- ・ こころの健康づくり教育を実施している
- ・ 管理職に対するラインケア研修を実施している

4. 職場の環境づくり

- ・ 職場が禁煙になっている
- ・ 3Sなどの快適職場づくりに努めている

5. 職場コミュニケーションの推進

- ・ 職場で職務に関する情報交換がなされている
- ・ 管理職による職場環境改善にかかわる情報交換がなされている

「健康経営宣言」に該当(認定)した企業に対しては

- ・ 「健康経営宣言」認定証の発行
- ・ 健康経営宣言内容のHPへの掲載
- ・ 名刺やホームページなどで利用可能な「コミュニケーションマーク」の発行



コミュニケーション
マークのイメージ

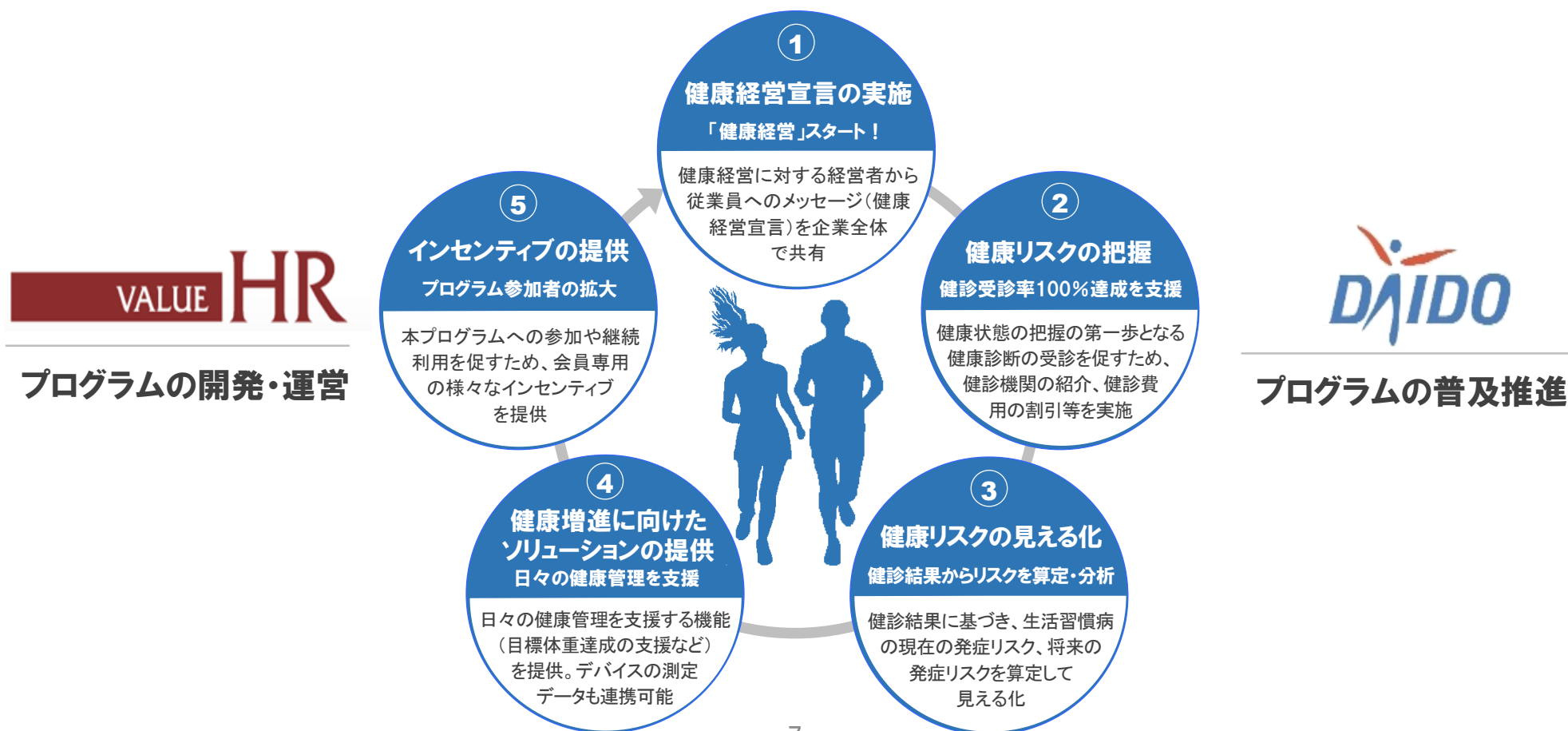
「健康経営宣言」に非該当の企業に対しては

- ・ 認定に向けたアドバイスの実施

2-2 株式会社バリューHRとの協働(健康経営の実践ツールの提供)

- ・ 当社のパートナー企業であるバリューHRをはじめ、大手デバイスメーカーなどの専門的な技術とノウハウを持つ複数の企業との協働によって、**健康経営の実践ツールである大同生命「KENCO SUPPORT PROGRAM」を開発・提供**します。
- ・ **当プログラムの提供を通じて**、企業の経営者（事業主）や従業員が、自らの健康課題（リスク）の把握、健康改善に向けた施策の立案、継続的な取組みに向けたインセンティブの提供や健康経営の効果の確認といった、**健康経営に必要なPDCAサイクルを一貫して支援**して参ります。
- ・ なお、当プログラムは**平成29年4月からの提供を予定**しております。

大同生命「KENCO SUPPORT PROGRAM」の提供



3. 大同生命「KENCO SUPPORT PROGRAM」の概要

3-1 健康経営宣言の実施

- ・本プログラムの開始にあたり、経営者は健康経営の推進に向けた従業員向けのメッセージ（健康経営宣言）を策定します。
- ・策定した「健康経営宣言」は、従業員が使用する本プログラムのマイページ（Web）のトップ画面に表示するため、繰り返し「健康経営宣言」を確認することで、企業全体の「健康経営」への意識が高まります。

従業員が使用するマイページのトップ画面



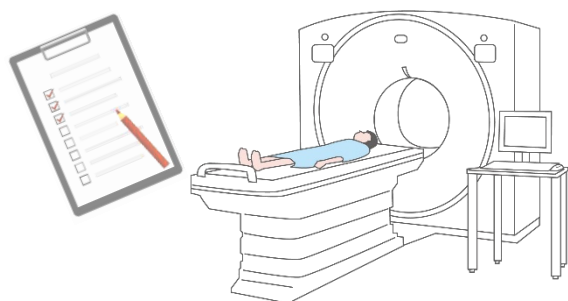
【健康経営宣言の例】

●●●●株式会社 健康経営宣言 健康経営推進担当者：大同 太郎
健康経営企業への変革 社員の健康を企業の成長力に！

3-2 健康リスクの把握

- ・組織と従業員個々の心身の健康リスクを把握することが「健康経営」の実践に向けた第一歩です。
- ・本プログラムでは、「人間ドック・法定健診紹介サービス」「ストレスチェックサービス」を提供することで、組織と従業員個々の健康リスクの把握を支援します。

人間ドック・法定健診紹介サービス



- 紹介可能な受診機関は全国1,500箇所以上
- PET検査・乳がん検診など利用者のニーズに応じた受診機関を紹介
- 休日健診が可能な受診機関の紹介も可能
- 一部の受診機関では優待価格で受診することが可能

中小企業の健康診断受診率100%達成を支援

ストレスチェックサービス

	低い 少ない	やや低 い 少ない	普通	やや高 い 多い	高い 多い	点数
【ストレスの原因と考えられる因子】						30
心理的な仕事の負担（量）						
心理的な仕事の負担（質）						
自覚的な身体的負担度						
職場の対人関係でのストレス						
職場環境によるストレス						
仕事のコントロール度						
あなたの技能の活用度						
あなたが感じている仕事の過性度						
働きがい						
【ストレスによっておこる心身の反応】						

ご回答いただいたストレス調査票の結果から、「あなたのストレスプロフィール」を作成しました。このプロフィールから、あなたのストレスの状態をおおよそ把握していただくことが出来ると思います。結果をごらんいただき、ご自分の心の健康管理にお役立てください。

詳しいストレス度や、それに伴うところの問題については、この結果のみで判断することはできません。ご心配な方は専門家にご相談下さい。

あなたのストレス反応の状態は普通より少し高めでした。しかし、仕事上のストレスの原因となる因子については問題はみられませんでした。

ストレス状態が続くと、心や身体がストレスの原因に対して反応し、その結果として、気分が落ち込む、イライラ感がつのる、疲れる、元気がないといった症状があらわれます。このような症状や気分だけでなく、からだの不調としてあらわれることもあります。

あなたの場合、イライラ感・不安感が高く、身体症状が多いようです。

あなたの仕事でのストレスの原因となりうる因子では、仕事の量的負担、質的負担、対人関係上のストレス、仕事のコントロール度、全てに問題はありませんでした。

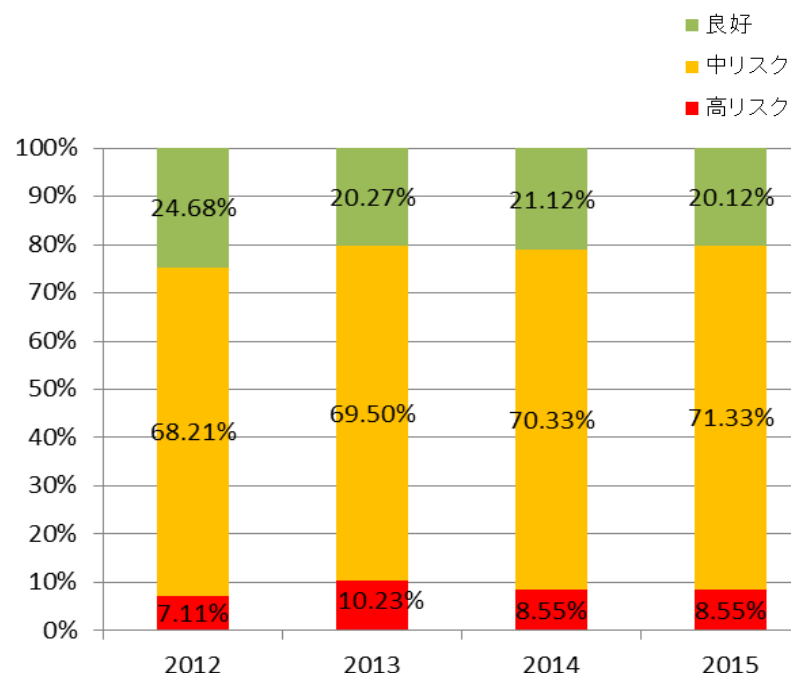
- 厚生労働省が推奨する「職業性ストレス簡易調査票（57項目）」に対応した質問項目を設定
- いつでも・何度でも・簡単に実施できる無料のセルフチェックサービス
- 過去の実施結果も履歴管理されるため、定期的の実施することでメンタルヘルスの変化もチェック可能

メンタルヘルス不調の予防を支援

3-3 健康リスクの見える化①

- ・ 健診結果に基づき、生活習慣病につながる**組織と従業員個々の健康リスクを「見える化」**します。
- ・ 健診結果を毎年登録することで、健康リスクの毎年の推移・変化を確認することができます。

組織の健康リスクを見える化



従業員個々の生活習慣病リスクの結果を、組織全体で集計しグラフで表示

従業員個々の健康リスクを見える化

【毎年の健診結果を登録・管理】

分類／検査項目（単位）	参考基準値	2016年07月20日	2015年08月04日	2014年07月16日	2013年07月12日	2012年07月27日					
		健診機関判定	健診機関判定	健診機関判定	健診機関判定	健診機関判定					
		二次健診メモ	二次健診メモ	二次健診メモ	二次健診メモ	二次健診メモ					
		総合判定	総合判定	総合判定	総合判定	総合判定					
		C	B	A	A	A					
		判定	値	判定	値	判定	値	判定	値	判定	値
体格											
身長 (cm)			165.7		165.2		165.0		165.5		165.5
体重 (kg)			73.2		68.2		65.2		59.3		58.3
B M I	18.5～24.9	B	26.7	B	25.0	A	23.9	A	21.7	A	21.3
腰囲 (cm)	～89.9	C	91	A	86	A	78.3	A	70.6	A	68.0
眼科											
裸眼視力 右	0.7～	A	1.0	A	1.2	A	1.2	A	1.5	A	1.2
裸眼視力 左	0.7～	A	1.2	A	1.2	A	1.2	A	1.2	A	1.5
矯正視力 右	0.7～										
矯正視力 左	0.7～										
聴力											
聴力 右	所見なし	A	所見なし	A	所見なし	A	所見なし	A	所見なし	A	所見なし
判定記号： 異常なし 概ね正常 日常生活に注意 有症状受診 経過観察後再検査 経過観察継続 要治療 治療継続 すぐに再検査 要精密検査											
主要検査項目を表示 全検査項目を表示											

過去から現在までの健診結果の推移が一覧やグラフで確認可能

生活習慣病について

あなたは **中リスク** です。

今年の生活習慣病予防健診の結果では、医師・保健師等の治療・指導が必要です。健康診断の総合判定をご確認ください。医師の指示に従ってください。

以下は2016年4月1日受診分の健診結果から導き出されたあなたの健康状態です。リスクの度合いは以下の3/4ターン（赤：高リスク、黄：中リスク、緑：良好）+未受診の場合はグレーで表示されます。各項目をクリックすると詳細をご覧ください。

● 高リスク ● 中リスク ● 良好 ● 未受検



生活習慣病の発症につながる検査項目のリスク度が一目で分かるように表示

メタボリックシンドロームについて

あなたは...

メタボ該当者です。

【過去5年分のメタボ判定結果】

2015年	2014年	2013年	2012年	2011年
該当者	予備群	-	-	-

判定基準はこちら

メタボリックシンドロームの該当状況を判定して経年管理

3-3 健康リスクの見える化②

- ・株式会社野村総合研究所の生活習慣病発症予測システム「健康みらい予報」を提供します。
- ・当メニューでは最新の健診結果から、「**糖尿病・心血管病・虚血性心疾患・脳卒中**」の今後10年間の発症確率、**同性・同年齢と比べた発症倍率を確認**することができます。また、**発症確率・発症倍率を低減させるための施策の効果**をシミュレーションすることも可能です。

「健康みらい予報」による健康リスクの将来予測

●年●月●日の健診結果にもとづき、「健康みらい予報」で算定した将来予測です。

あなたが **50** 歳になるまでの、各疾病の発症リスクは…

	同性同年齢と比べた 発症倍率	発症確率	血管年齢
糖尿病	2.3 倍	21.91 %	—
心血管病	1.5 倍	9.37 %	62 歳
虚血性心疾患	1.7 倍	5.75 %	—
脳卒中	1.2 倍	5.45 %	—

最新の健診結果に基づき「糖尿病・心血管病・虚血性心疾患・脳卒中」の今後10年間の発症確率、同性・同年齢と比べた発症倍率を算出

※「健康みらい予報」による発症確率・発症倍率は、次の論文にもとづいています。

Arima H, et al. Development and validation of a cardiovascular risk prediction model for Japanese: the Hisayama Study. Hypertens Res 32:1119, 2009

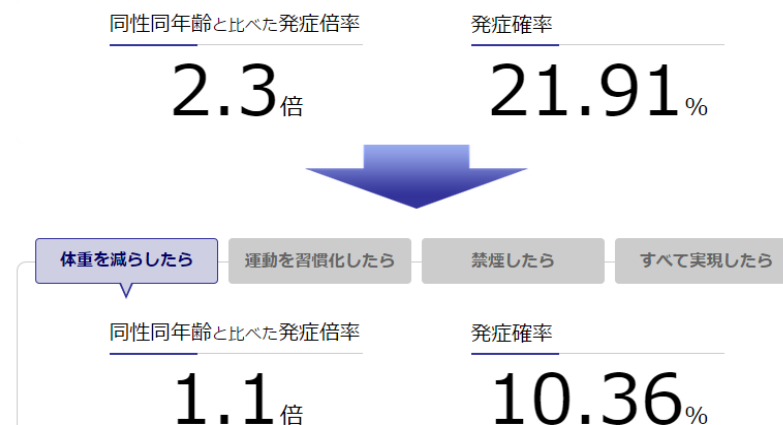
Doi Y, et al. Two risk score models for predicting incident Type 2 diabetes in Japan. Diabetic Med 29:107, 2012

健康リスクの改善に取り組んだ場合の低減効果(試算)

糖尿病

●年●月●日の健診結果にもとづき、「健康みらい予報」で算定した将来予測です。

あなたが **50** 歳になるまでの、糖尿病の発症リスクは…

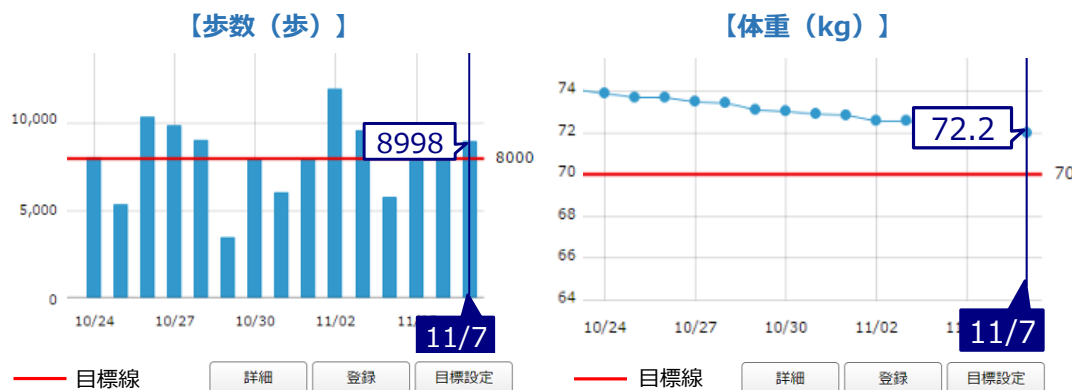


「体重を減らした場合・運動習慣を身につけた場合・禁煙した場合・すべて実現した場合」の今後10年間の健康リスクの低減効果を試算・表示

3-4 健康増進に向けたソリューションの提供(日々の健康管理の支援)①

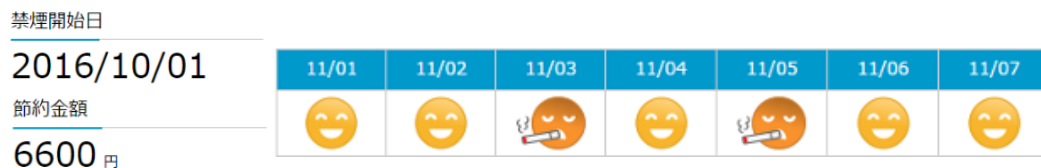
- ・ 目標体重達成や禁煙達成を支援する機能など、**健康リスクの改善に向けたソリューションを提供**します。
- ・ また、生活習慣病に関する解説、病気予防のための運動・食事・禁煙に関する解説など、**健康増進に役立つ情報を提供**しており、企業内研修を実施する時間がない企業でも従業員自らヘルスリテラシーの向上を図ることが可能です。

目標体重達成を支援する機能



目標体重達成に向け、日々のウォーキングの目標歩数を設定する機能、実際に歩いた歩数・体重を登録・管理し、グラフで表示する機能を提供

禁煙達成を支援する機能



禁煙により節約したタバコの金額表示や、カレンダーへのスタンプ登録などのゲーミフィケーションの要素を取り入れた機能を提供

健康増進に役立つ各種情報の提供

からだの健康 検査項目や生活習慣病、病気の予防方法について解説しています。

健康診断の結果 (検査項目) から分かることを解説します

検査項目一覧

生活習慣病について解説します

生活習慣病一覧

がんについて、さらに詳しく知りたい方はこちら↓
がん情報サービス ganjoho.jp

病気予防のための「運動」「食事」「禁煙」について解説します

運動

食事

禁煙

「からだ」の健康に役立つ情報を掲載

こころの健康 メンタル不調者に対する企業の管理・監督者としての対処方法や、自身のこころのケアについて学べます。

企業の管理・監督者向け

部下からの相談への対処方法などについて学習します。

15分でわかる
ラインによるケア

ストレスチェック制度の実施方法について解説します。

はじめての
ストレスチェック

ストレスチェック制度に対応したトータルサポートサービスです。

ストレスチェック
のご案内

ストレスへの気づきと対処方法などについて学習します。

15分でわかる
セルフケア

「こころ」の健康に役立つ情報を掲載

3-4 健康増進に向けたソリューションの提供(日々の運動管理等の支援)②

- ・セイコーエプソン株式会社、ソフトバンク株式会社、株式会社タニタ※が販売する健康関連のデバイス（活動量計、体組成計）や、iPhone®に搭載されている「ヘルスケア」アプリで測定したデータは、簡単な操作で本プログラムへデータ連携し、マイページ（Web）上で管理・閲覧することができます。

※株式会社タニタの「デュアルタイプ体組成計」で計測したデータは、iPhone®の「ヘルスケア」アプリを介してバリューHRにデータを連携します

健康関連のデバイス・iPhone®とのデータ連携(イメージ)



※記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です

※健康関連デバイスの対応機種は順次拡大予定

※スマートフォンはAndroidにも拡大予定

3-4 健康増進に向けたソリューションの提供(日々の食事管理の支援)③

- ・食と健康とヘルスケア分野において、企業や個人、栄養士・医療機関等の専門家にいたるまで、多彩なサービスを提供する株式会社リンクアンドコミュニケーションが開発した**食事改善アドバイスアプリ「カラダかわるNavi」**を提供します。
- ・親しみやすく、続けやすい会話型アプリで、食事改善に向けたソリューションとして活用することができます。

「カラダかわるNavi」の機能



食事内容を記録すると、約200万通り準備している管理栄養士のアドバイスの中から、最適なアドバイスをタイムラインに表示。



選択できる食事のメニュー数は約10万件。キーワード検索してリストから選ぶだけなので記録は簡単。



カロリーを計算するだけでなく、栄養バランス、今回の食事の良い点、今後の食事で気をつける点などをアドバイス。



見やすいグラフで管理するため、日々の目標達成状況等も一目で確認することが可能。

3-5 インセンティブの提供①

- ・「健康経営」を実践するには、**企業で働く全ての役職員が取組みに積極的に参加することが重要**です。
- ・「**KENCO SUPPORT PROGRAM**」では、健康無関心層を含めた多くの人の参加を促すため、**企業・個人、それぞれに対して各種のインセンティブを提供**します。

健康関連商品・サービスの優待価格での提供

対象:本プログラムの利用者全員

- バリューHRと提携する健康関連のサービス提供事業者が、健康関連のデバイス、健康食品、健康診断キット、スポーツクラブ・マッサージなどを優待価格で提供。

【優待価格で提供する商品・サービス例】 提供事業者:約140社

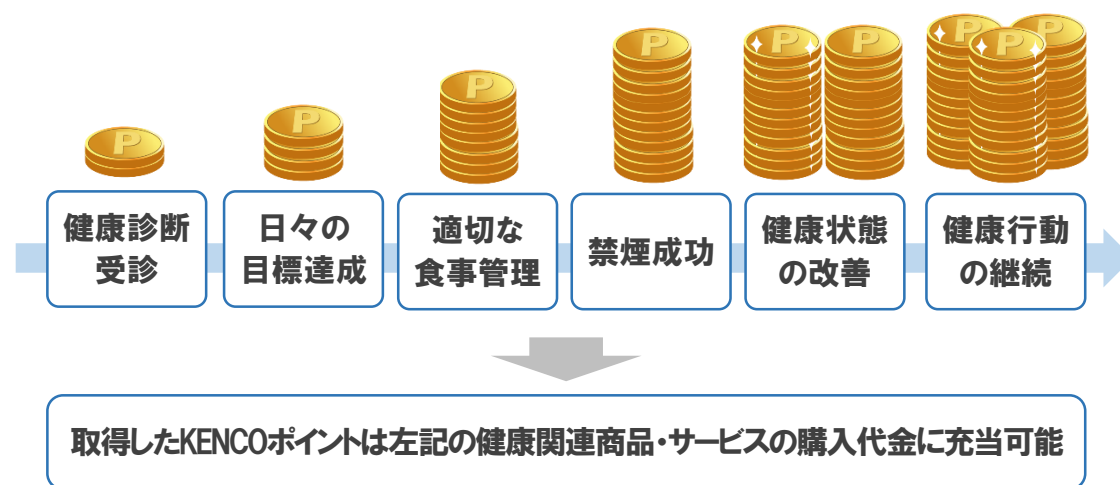
検査	遺伝子検査キット、在宅型血液検査キット、歯科ドック受診 等
食事	サプリメント、特定保健用食品、機能性表示食品、健康飲料、ダイエットレシピ 等
運動	活動量計、体組成計、フィットネスクラブ、スポーツ用品 等
睡眠	睡眠計、寝具(マットレス・枕) 等
禁煙	禁煙補助剤
医薬品	内服薬、外用薬、救急用具、歯科関連 等
リラクゼーション	エステ、マッサージ、温泉、リカバリーウェア 等
レジャー	遊園地、水族館、プラネタリウム 等

ポイントプログラム

対象:従業員福利厚生制度のさらなる充実を目指す企業

- ポイントプログラム付のコース(Bコース)の利用者は、健康診断の受診、日々の目標歩数達成、禁煙達成など、健康増進に向けた取組状況に応じてポイント(KENCOポイント)を付与する仕組みが利用可能。
 - 取得したKENCOポイントは、バリューHRと提携する健康関連のサービス提供事業者の健康関連商品・サービスの購入代金に充当可能。
- ※自社の役職員が使用したKENCOポイントの費用は企業負担となります。

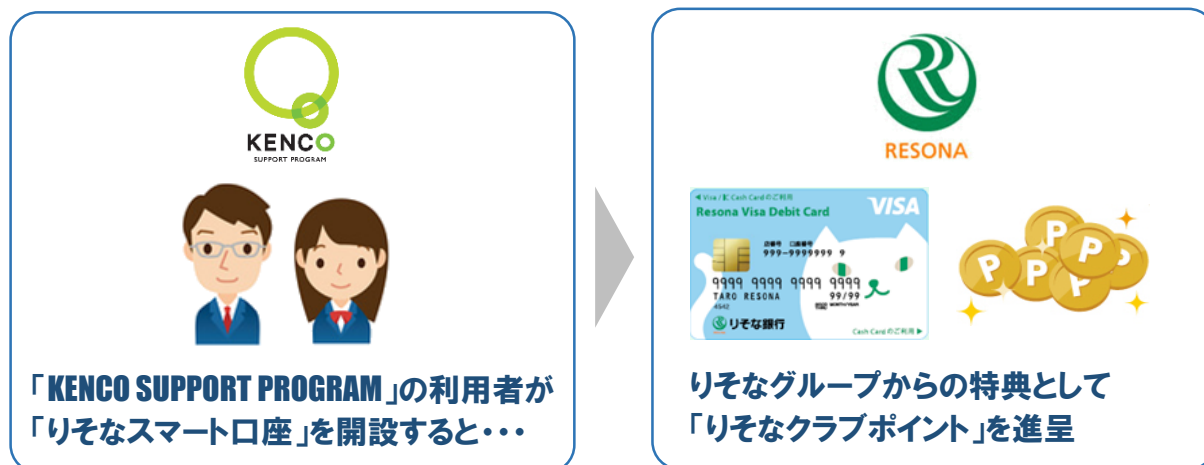
健康増進に取り組めば取り組むほど「KENCOポイント」を取得



3-5 インセンティブの提供②

- ・ りそなグループ3行と協働し、本プログラムの利用者向けのインセンティブとして、以下の取組みを実施します。
 - － 「りそなスマート口座」開設時の特典として「りそなクラブポイント」を進呈
 - － 「KENCO SUPPORT PROGRAM」の健康関連商品・サービスの購入代金を「りそなスマート口座」で決済するたびに「りそなクラブポイント」の取得が可能
 - － 「りそなクラブポイント」の「KENCOポイント」への交換等、相互連携機能を今後強化していく予定
- ・ 上記の取組みは、『地域のお客さまにもっとも支持され、ともに未来へ歩み続ける「金融サービスグループ」』を目指すりそなグループの健康経営の普及に対する思いから実現しました。
- ・ 従業員による健康増進の取組みにインセンティブを提供することで、企業・従業員が一体となった健康経営を支援して参ります。

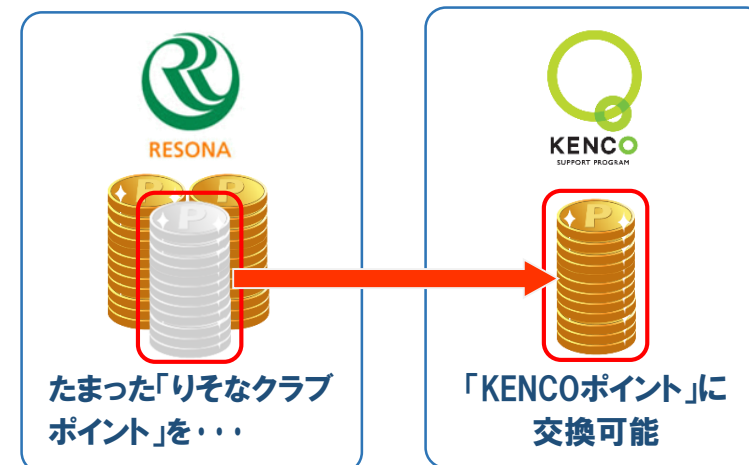
「りそなスマート口座」開設時に「りそなクラブポイント」進呈



さらに

「KENCO SUPPORT PROGRAM」の健康関連商品・サービスの購入代金を「りそなスマート口座」で決済するたびに「りそなクラブポイント」の取得が可能！

ポイント交換

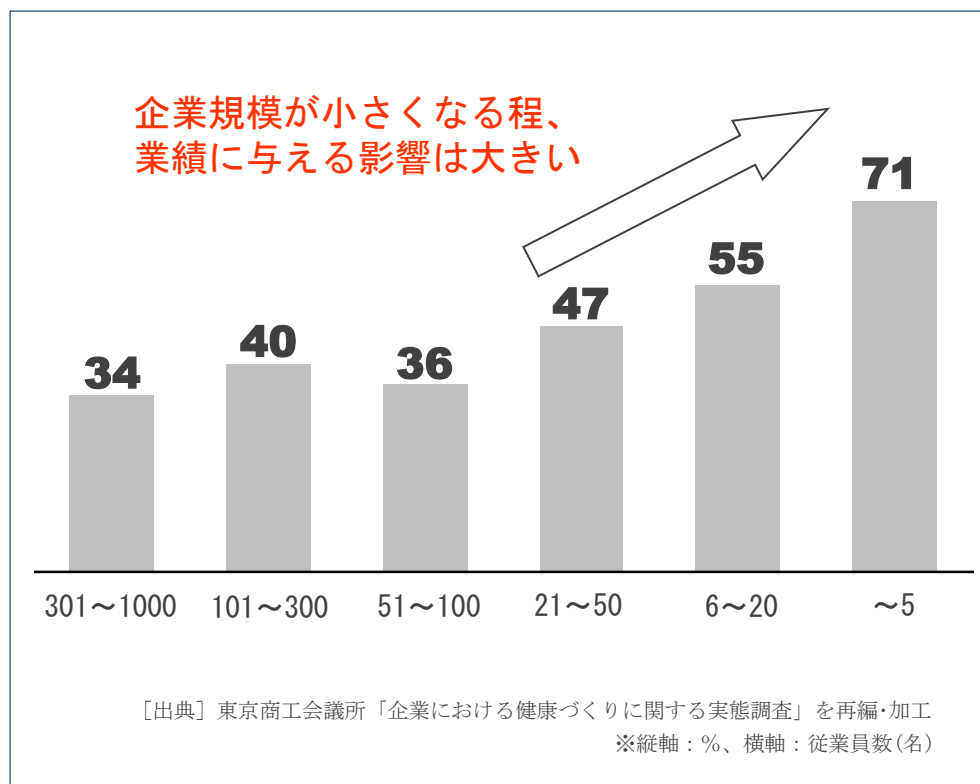


(参考) 中小企業における健康増進の現状等

- ・従業員一人当たりの役割が相対的に大きい中小企業にとって、**従業員の健康状態の悪化が経営に及ぼす影響は大きく**、企業全体で健康増進に取り組む必要性が高いと言えます。
- ・しかし、中小企業の健康増進に関する取組みの現状は、**定期健康診断の受診率が低い**など、疾病予防・健康管理意識に課題がある状況です。

<従業員が健康を害した場合の業績への悪影響>

※大きな影響があると回答した割合



<事業所規模別定期健康診断の実施率>

事業所規模が小さくなる程、定期健診の受診率は低い

